

# 平成 22 年度環境省概算要求の概要

1. 従来 of 行政課題に対応する予算については、見直しを徹底し、平成 21 年度当初予算額以下とする。

## 【一般会計】

	平成 21 年度 当初予算額	平成 22 年度 概算要求額	対前年度比
	億円	億円	%
(非公共)			
一般政策経費等	956	1,066	111.5
エネルギー特会繰入 <sup>1</sup>	365	390	106.8
計	1,321	1,456	110.2
(公共)			
廃棄物	732	600	82.0
自然公園	110	107	97.0
計	842	707	84.0
合計	2,163	2,163	100.0 (微減)

1 エネルギー特会：エネルギー対策特別会計

## 【予算総額】

	平成 21 年度 当初予算額	平成 22 年度 概算要求額	対前年度比
	億円	億円	%
一般会計 + 特別会計の剰余金等	2,218	2,195	99.0

## 【特別会計】

	平成 21 年度 当初予算額	平成 22 年度 概算要求額	対前年度比
	億円	億円	%
エネルギー特会	420	422 <sup>2</sup>	100.5

2 エネルギー特会の平成 22 年度概算要求額 422 億円は、一般会計の繰入額 (390 億円) と剰余金等 (32 億円) を加えた額である。

2. 別紙の事項については、マニフェストや鳩山総理演説を踏まえ、2020 年度 25% 削減の目標達成に向けた「チャレンジ 25 プロジェクト」として、環境省の要望する地球温暖化対策税の創設の取扱いとあわせ、予算編成の過程において検討することを求めた。

	平成 21 年度 当初予算額	平成 22 年度 要望額	対前年度比
	億円	億円	%
チャレンジ 25 プロジェクト	-	-	-

(注) 四捨五入等の理由により、端数において計数が合致しない場合がある。

(別紙)

## 平成22年度予算編成における 「チャレンジ25プロジェクト」の検討について

平成21年10月15日  
環 境 省

地球温暖化対策については、京都議定書の目標達成のための施策の強化に加え、鳩山総理が国連総会で表明された「2020年までに1990年比25%削減」を実現するため、低炭素社会への経済社会の変革を図る温室効果ガスの削減目標の達成のための施策や国際交渉をリードするための施策（鳩山イニシアティブ）を展開することが必要である。

以下の事項については、2020年度25%削減の目標達成に向けた「チャレンジ25プロジェクト」として、環境省の要望する地球温暖化対策税の創設の取扱いとあわせ、予算編成の過程において検討することを求める。

- 1．エコポイントの活用によるグリーン家電普及促進事業
- 2．中核市・特例市グリーンニューディール基金の創設
- 3．チャレンジ25地域づくり事業
- 4．地球温暖化対策加速化支援無利子融資事業
- 5．温室効果ガス排出削減・吸収クレジット創出支援事業
- 6．環境適応車大量普及事業
- 7．太陽熱利用システム普及加速化事業
- 8．国内排出量取引制度本格導入準備事業
- 9．ロードプライシング制度に関する調査研究事業
- 10．鳩山イニシアティブ推進事業

## 既存予算の見直し状況について

平成21年10月15日  
環 境 省

平成22年度予算概算要求に当たって、既存予算の見直しを行い、その削減に取り組みました。その概要は以下のとおりです（速報値）。

廃止

7 2 件                      1 5 . 3 億円

合理化・縮減

1 4 9 . 4 億円

削減額合計

1 6 4 . 7 億円